

緊急勉強会のお知らせ

貧困問題を解決に導く経済のあり方について ～ 金融政策・財政政策の仕組みを理解しよう



12月12日木曜日 18時30分開始（18時開場）

川崎商工会議所（川崎フロンティアビル内）

2階会議室4にて開催します。

この間、貧困の厳しい現実を目の当たりにし、この問題の解決の糸口を掴むには、もっと経済や財政の仕組みについて勉強しなければいけないと思うようになり、財政税制などの経済分野の勉強会を企画しました。

日時 2019年12月12木曜日
18時開場、18時半開演 20時半頃終了予定

会場 川崎フロンティアビル内
川崎商工会議所2階会議室4

参加費 500円

演題 貧困問題を解決に導く経済のあり方について ～ 金融政策・財政政策の仕組みを理解しよう ～

講師 池戸万作（経済政策アナリスト）

主催 かわさき子どもの貧困問題研究会

かわさき
子どもの貧困
問題研究会

お申込み、お問合せは、

[kenkyukodomo@yahoo.](mailto:kenkyukodomo@yahoo.co.jp)

[co.jp](http://kenkyukodomo.co.jp) まで

よろしくお願いします。

講師紹介 池戸万作

1983年東京都生まれ。同志社大学法学部政治学科卒業、中央大学経済学研究科博士前期

課程修了。公的機関での事務職や

民間企業での経理職の傍ら、2010年よ

り、日本経済復活の会に参加し、故・穴戸駿太郎（元筑波大学副学長、元国際大学学長）氏より、経済学の教えを受ける。その後、社会人大学院生として、平成日本のマクロ経済動向を研究する。現在は、同会の幹事、薔薇マークキャンペーンの経済政策アナリスト、国会議員の経済政策ブレインなどを務める。趣味はカラオケ、国内旅行。

池戸万作先生からのメッセージ

初めまして、政治経済評論家、経済政策アナリストの池戸万作と申します。

講演につきまして、お問い合わせありがとうございます。是非、講演の方をお受けさせて頂ければと存じます。

私の税や財政に関する、基本的な考えに関しては、下記の論稿をご覧頂ければ幸いです。消費税10%なんてとんでもない MMT（現代貨幣理論）から消費税は不要な税金である

<https://wezz-y.com/archives/65039>

一言で言いますと、私は「応益負担論者」の井手英策先生とは、真逆の立場を取る「応能負担論者」です。貧しい人からも負担を頂く井手先生に対して、貧しい人は一切負担は要らないという考えを個人消費拡大での経済成長による、「税の自然増収」を図る面から唱えています。

また、財源論に関しては、とても平たく言えば、

お金（国債）を新たに発行すれば良いという立場です。

ただ、それを無限にやっけてしまつては、インフレ率が上昇してしまいます。

しかし、今の日本はデフレに近い状態ですから、計量シミュレーションにより、インフレ率2%目標に向け



は、毎年30兆円ほど、お金を新たに発行して、財源に出来るだろうと見通しを立てています。

ということで、この毎年30兆円もの財源を使えば、いくらでも貧困対策は打つて、貧困問題は解決できると考えています。

ただ、こうしたMMT的な新たにお金を発行する考えは、現場で貧困問題に取り組んでいる方々には、すこ

ぶる評判が悪いのも現状です。

そこには、政治的イデオロギーや、長年貧困問題に取り組んで来た者として、そんなに簡単に問題を解決出来るわけがないといったアイデンティティも、絡んで来ているのではないかなと分析しております。

また、「国債＝国の借金」という世間のイメージがこびり付いているため、債務返済を業務として行う弁護士の方々に対しては、一番ご理解頂くのは難しいかなとは感じています。

MMTに関して、一番理解者が多いのが、理工系の方で、次いで、税理士や会計士など、経理関係（私も経理出身です）になるのかなとは思っています。

こういった論旨で、講演の方を行わせて頂ければ幸いです。

MMTは、今までの財政学の常識とは180度異なる発想なので、こうした活動をされている方々にも、お呼び頂けるのは大変光栄です。